

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生物多様性保全事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (環境部環境保全課)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	845,220 円 (うち支援金: 633,000 円)

事業内容

- 「啓発事業」
自然とふれあいながら生物多様性について学び、生物多様性保全に対する関心を高めてもらうため、環境学習会を実施した。
- 「ゴマシジミ保護回復事業」
ゴマシジミの保護回復のため、市民調査員による生息状況調査を行った。
- 「生物多様性モニタリング調査業務委託」
生物多様性保全事業の指標とするため、地域戦略のモデル地区から5カ所選定し、年1カ所ずつモニタリング調査をする。今年度は、乗鞍高原一の瀬園地の植物相を調査した。



【「啓発事業」環境学習会の様子】

【目標・ねらい】

- ①自然にふれあう機会を提供し、生物多様性保全に対する関心を高める
- ②市民との協働
- ③生物多様性保全の実践

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 「啓発事業」→①
5回で延べ103名が参加し、市民の生物多様性に対する関心を高めることができた。
- 「ゴマシジミ保護回復事業」→②、③
ゴマシジミの生息状況を市民と協働で実施し、生物多様性保全につながった。また、県が策定したゴマシジミ保護回復計画に資する事業ともなった。
- 「生物多様性モニタリング調査業務委託」→②、③
調査の実施にあたっては一般市民も調査員として加わり、市民の知識向上につながった。調査結果は幅広く市民にお知らせできるよう調査結果報告用のパネルも作成できた。

※自己評価【B】

【理由】

悪天候等で一部の環境学習会が予定通り開催できなかったが、概ね計画どおり事業を実施し、生物多様性の保全が図られたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域発元気づくり支援金を活用して実施した事業のノウハウや成果物を来年度以降も活用し、市民の生物多様性保全に対する関心を引き続き高めていくことにより、本市の生物多様性の保全につなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある